

「IIJアカデミー」概要・募集要項のご説明



2023年 1月

株式会社インターネットイニシアティブ
IIJアカデミー事務局

IIJアカデミー開設にあたって 鈴木代表メッセージ

インターネットは、政治、産業、経済から暮らしに至るまで、あらゆる仕組みを変えてしまう巨大な技術革新ですが、その具体化は、未だ、現在進行形です。百年を超えて、通信の主役は電話でしたが、通信を支える基本的な技術がコンピュータサイエンスになることで、あらゆる領域で世界を変えてしまうダイナミズムは、時を追うごとに、その広がり、激しさを増しています。情報の世界の革新が急速に進む現在、巨大な技術革新を支えるもっとも重要な基盤はネットワークであり、そのネットワークをいかに構築し、トラブルなく安定した運用を可能とするかが、重要であることは言うまでもありません。

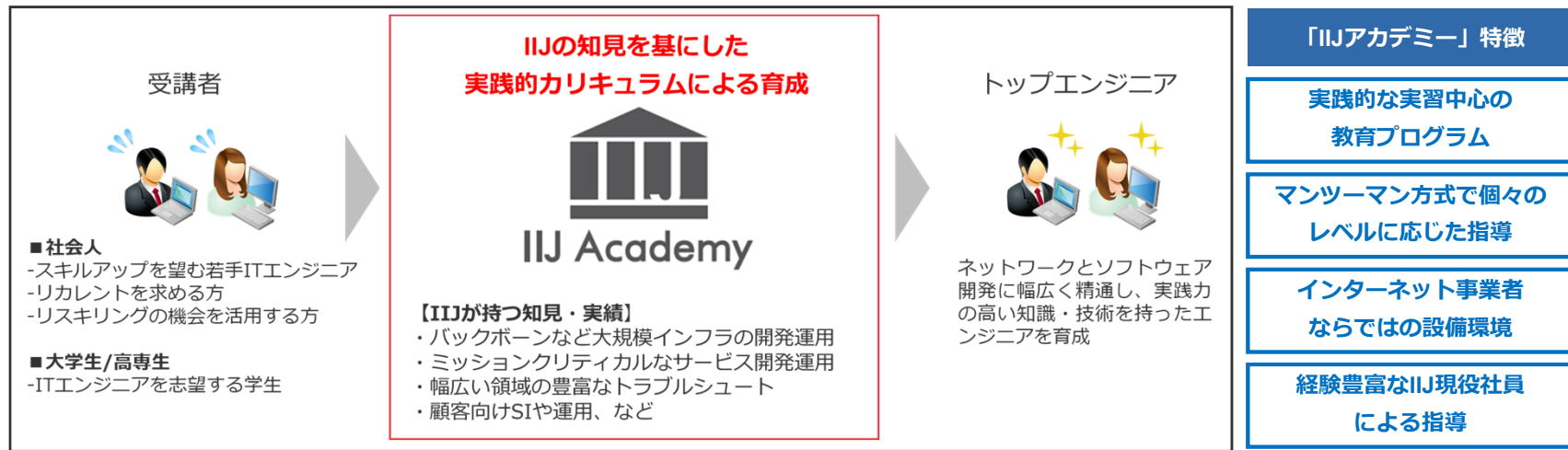
一方、コンピュータサイエンスを基盤とするネットワークを支えるエンジニアの枯渇は、技術革新が進展するにしたがって、極めて深刻な事態となっています。2000人を超えるネットワークエンジニアを育てたIIJは、世界でも極めて、稀な存在です。今回、公にする「IIJアカデミー」は、IIJのエンジニアを講師として、まさにいま必要とされている高度な運用技術をもつネットワークエンジニアを短期間で育成する機関をつくらうという試みであり、新たなカリキュラムをつくり、ネットワーク社会を支える技術者の育成という、社会の要請に応えようとする取り組みです。

IIJアカデミー代表 鈴木 幸一
(株式会社インターネットイニシアティブ 代表取締役会長 (Co-CEO))

「IIJアカデミー」とは

未来のネットワーク社会を担うトップエンジニアを育成します。

IIJが創業以来30年にわたり培ってきたインターネットサービス開発・運用の知見をベースに、実践的な知識・スキルを習得できる学びの場を提供し、未来のネットワーク社会とIT産業の根幹を支える高度な技術を持つIT人材を育成することを目指しています。



IIJアカデミー開設の背景

インターネットが普及し、ネットワークは社会生活・企業活動においてトラブルや停止の許されない重要な社会インフラになりました。将来多様化していく情報処理技術の活用においても高品質で信頼性の高いネットワーク利用が大前提になります。

ITエンジニアに求められるもの

ネットワーク・システムの現場ではネットワークとソフトウェア開発に精通しているエンジニアの不足が課題です。クラウドサービスなどブラックボックス化されたものの中身も理解し、高品質な開発と、いざという時の対処ができる人材が必要とされています。

実践実習環境での学びの場

こうしたエンジニアを育成するため「IIJアカデミー」では自ら手を動かして学ぶ、実践的な学習の場を提供します。

実習課題

ネットワークを中心とするいくつかの技術分野に対して、実践経験を積むことができ、仕組みと原理の理解が深まるよう工夫した実習課題を用意しています。

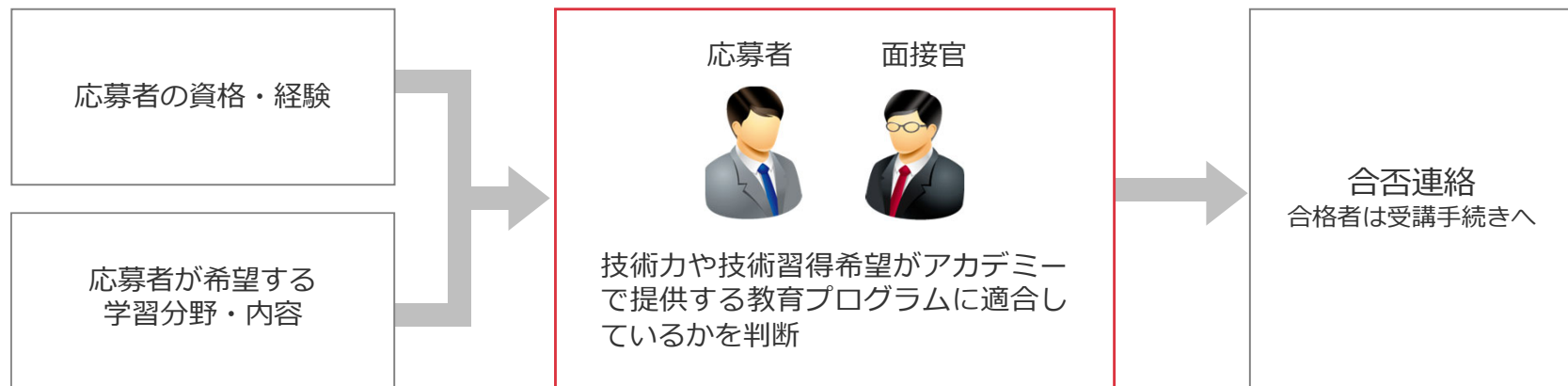
ネットワーク	DC/クラウド	サーバ	OS	仮想化
冗長性	性能	トラブルシューティング	仕組み・原理	

課題項目

- ・ 冗長化ネットワークの構築
- ・ 冗長化ネットワークの運用
- ・ クラウドサービス（IaaS）を作ってみる
- ・ 大規模なクラウド（IaaS）を構築するためのネットワーク技術
- ・ インターネットにつながっているサーバとネットワーク機器に、マネジメント用ネットワークから操作をする
- ・ サーバにファイアウォール機能をもたせる
- ・ システムリソース枯渇原因を特定する
- ・ 自前のオーセンティケータを作成する
- ・ 同時接続セッション数を増加させる
- ・ 動的経路制御を用いたネットワーク
- ・ ネットワーク上に流れているパケットの流量を測定する
- ・ ネットワーク上に流れているパケットを覗く道具を作る
- ・ ルータの挙動を実体験する
- ・ ロードアバレージの意味と計算方法を調べて実装する
- ・ Address Resolution Protocol（ARP）を覗く
- ・ L2ループを制御する
- ・ OSのTCPパラメータをチューニングし、パフォーマンスを高める

※詳細はIIJアカデミーWebサイトをご確認ください。<https://www.ijj.ad.jp/ijjacademy/>

選考過程・手続き



✓ 応募

受講希望の方は、フォームに応募者のプロフィール（有する技術資格・経験）、技術習得意向（希望する学習分野・内容、自身での課題認識など）を入力して応募してください。

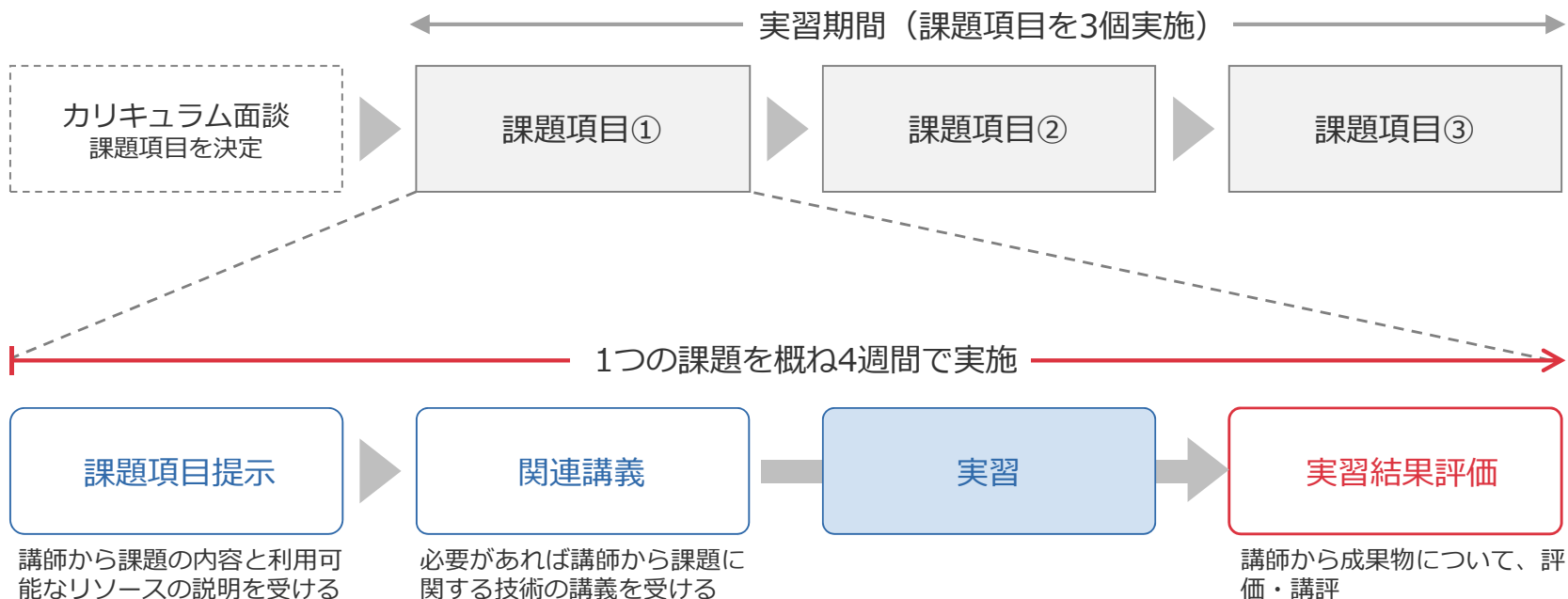
✓ 面接

応募プロフィール・技術習得意向をもとに面接し、応募者の技術力がアカデミーで提供する教育プログラムに適合しているかを判断します。

✓ 合否通知、受講手続き

面接後に、応募者に合否の通知を行います。合格した応募者は期日までに受講手続きおよび受講料金の支払いを完了してください。

実習の進め方



実習の進め方（つづき）

✓ 教育プログラム設定

受講生と講師によるカリキュラム面談で、受講生の技術レベルと希望を踏まえ教育プログラム（課題の選択）の合意と実習のゴールを策定します。

✓ 実習方法

受講生は基本的に任意の時間で課題に取り組みます。週4、5時間程度で講師が実習の進捗確認および受講生の質問に答える時間を設け、フォローを実施します。

課題項目の実習開始にあたっては、講師から内容と利用可能なリソースの説明をし、必要があれば関連する技術についての講義を実施します。

✓ 実習環境

課題項目の実習においては、IIJ アカデミーの提供する物理的な部屋、コンピュータリソース、ネットワークリソースが使用可能です。また基本的にリモートからの作業が可能（課題内容によってはオンサイトでの作業が必須）です。

（※）受講生用のコンピュータ端末、およびリモートからのインターネット接続環境は受講生自身でご用意ください。

✓ 教育プログラム実習の期間

12週間（1課題項目あたり4週間を想定）

第1期募集要項

実習期間	2023年5月8日（月）～2023年7月28日（金） ※実習終了後に評価、修了証授与を実施します（2023年8月10日（木）を予定）。
会場	・対面：株式会社インターネットイニシアティブ 本社（飯田橋グラン・ブルーム） 本社所在地 https://ijj.ad.jp/company/about/map/head-office.html ・オンライン会議 ※コンピュータ端末及び通信等の環境は受講生負担となります。当社が第三者の提供するサービス利用等を指定する場合があります。
受講料金	税込20万円（学生は税込10万円） ※学生料金適用対象は、大学、高等専門学校、専門学校、大学受験予備校（このほかの教育機関について当社が個別に認定する場合はこの限りではありません）に在籍する学生とします。 ※学生料金の適用には、合格決定後に実習期間の開始日時時点で有効な学生証の写しをご提出いただきます。
募集対象	18歳以上（技術習得に意欲のある社会人、高専生含む学生の方など） ※ある程度のソフトウェアやネットワークの知識をもっている人（ITSSレベル4相当を想定）で、学生からリスティングとして学び直したい社会人までを対象に、ネットワークやシステムに関する専門的業務に携わっている、あるいはこれからスペシャリストを目指したい方を募集します。
募集人数	20～30名 ※受講にあたり、申込者は募集要項に定める条件を満たしていること及び当社の実施する選考に合格することが必要となります。
申込期間	2023年1月16日（月）15:00～2023年2月28日（火）12:00
支払期限	2023年4月14日（金） ※当社選考に合格された方のみとなります。合格者決定は2023年3月31日（金）を予定、決定後すみやかに通知いたします。
支払方法	・オンライン決済（Visa、MasterCard、American Express、JCBなどのクレジットカード、Apple Pay、Google Payなど） ・コンビニ決済（ファミリーマート、ローソン、ミニストップ、セイコーマートなど） ・銀行振込 ※ストライプジャパン株式会社の提供する決済システム利用となります。
キャンセルポリシー	https://ijj.ad.jp/ijjacademy/apply/ を参照ください

※詳細はIJJアカデミーWebサイトをご確認ください。<https://www.ijj.ad.jp/ijjacademy/>

■ IJアカデミーについての詳細情報、および最新情報

➤ IJアカデミー Webサイト

<https://www.ij.ad.jp/ijacademy/>

■ IJアカデミーについてのお問い合わせ先

➤ IJアカデミー お問い合わせフォーム

<https://www.ij.ad.jp/ijacademy/inq/>



日本のインターネットは1992年、IIJとともにはじまりました。以来、IIJグループはネットワーク社会の基盤をつくり、技術力でその発展を支えてきました。インターネットの未来を想い、新たなイノベーションに挑戦し続けていく。それは、つねに先駆者としてインターネットの可能性を切り拓いてきたIIJの、これからも変わることのない姿勢です。IIJの真ん中のIはイニシアティブ

IIJはいつもはじまりであり、未来です。

本書には、株式会社インターネットイニシアティブに権利の帰属する秘密情報が含まれています。本書の著作権は、当社に帰属し、日本の著作権法及び国際条約により保護されており、著作権者の事前の書面による許諾がなければ、複製・翻案・公衆送信等できません。本書に掲載されている商品名、会社名等は各会社の商号、商標または登録商標です。文中では™、®マークは表示していません。本サービスの仕様、及び本書に記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。